



【お知らせ】

30. 10. 27

統合幕僚監部

日米韓参謀総長級会談プレス発表

統合幕僚長河野克俊海将は、米統合参謀本部議長ジョセフ・ダンフォード海兵隊大将の招待を受け、10月27日（日本時間）、米国防総省において韓国合同参謀本部議長パク・ハンギ陸軍大将とともに3か国による参謀総長級会談に参加しました。

同会談には、米インド太平洋軍司令官フィリップ・デービッドソン海軍大将、在韓米軍司令官ヴィンセント・ブルックス陸軍大将及び在日米軍司令官ジェリー・マルティネス空軍中將も参加しました。

日米韓の参謀総長級による会談は2014年7月以来7回目であり、前回は本年5月に開催しました。会談では、地域の不測事態に対する即応性を確保するとともに、北東アジアの平和と安定を促進する観点から日米韓3か国の防衛協力について議論しました。

ダンフォード統合参謀本部議長は、我が国及び韓国を防衛するとともに、通常兵器、核兵器及び弾道ミサイル防衛を含む米国のあらゆる軍事力をもって担保される拡大抑止に対する米国の揺るぎないコミットメントについて再確認しました。

3者は、地域の平和と安定を強化するため、共通の安全保障問題に対し、さらなる協力を継続していくことで一致しました。

